

キャリアアッププログラム2020（2学期）講座シラバス

【エントリー科目】

科目名	知的財産権ビジネス入門	
	著作権を中心に知的財産権とビジネスの関わりをやさしく紹介	
受講対象者	知的財産権及び知的財産権ビジネスという用語に興味を持っている人をはじめ、用語は知っていたが独力で勉強開始するのはちょっとと思っていた人など、知的財産権ビジネスに興味のある方ならどなたでも受講できます。	
講座概要	知的財産権ビジネスの基盤となる産業財産権（特許権、実用新案権、商標権、意匠権等）と著作権に関する知識、それらを活かした知的財産権ビジネスの概括的な紹介	
到達目標	知的財産権と知的財産権ビジネスに関して、メディア等で目にした際、理解の促進となる基本的な知識の習得	
授業計画 および開講日	第1回	今なぜ知的財産権？知的財産権ビジネスとは
	第2回	知的財産権を知る(産業財産権:特許権・実用新案権・意匠権)
	第3回	知的財産権を知る(産業財産権:商標権・営業秘密、著作権)
	第4回	知的財産権を知る(著作権②)
	第5回	知的財産権を知る(著作権③)
	第6回	知的財産権ビジネス概要
授業の形式	座学中心で実施します。	
授業の進め方	毎回、講義の後、質疑応答。宿題はありません。	
教材などの追加負担	教材の負担はありません。	
受講者へのメッセージ	日本は「知的財産立国」を標ぼうしており、知財権収支は年間3兆円の黒字で、世界の「知財競争」はますます激化しています。本講では、知的財産権及び知的財産権に立脚するビジネスについて分かりやすく解説します。	
講師紹介	<p>井上英之（いのうえ ひでゆき）メディアビジネス学科 教授</p> <p>1958年広島県広島市生。京都大学法学部卒。1981年(株)博報堂入社。博報堂を皮切りに、さまざまな事業母体で、国際博覧会・WEBリサーチ・出版・キャラクタービジネス・動画配信等知的財産権を活用したメディアビジネスの企画・プロデュースを経験。2013年広島にUターン。2015年～2020年まで広島県地域力創造アドバイザーとして、広島県の定住促進施策に携わる。「地域課題をメディアビジネス的に解決する」人材の育成、事業の構築を目指している。</p>	